

# 平成30年度 地域座談会で寄せられた要望・意見・提案の対応方針等

【店屋場地域集会施設】店屋場自治会 参加者数：21名

No	テーマ	要望・意見・提案の内容	所管課	対応方針等
1	地域の防災体制について	毎年行われる防災訓練において、一次避難所から広域避難所へ参集する訓練も行うべきではないか。	安全防災担当室	今年度については自主防災会と連携し実施したいと考えております。 自宅から避難所等へ移動する際は、黄色いタオル等を外から見える玄関等へ掲げていただくよう対応をお願いいたします。
2		店屋場地区は洪水時には浸水することが予想される。大井町のミマスモールや、ブルックスなど、町境を超えて、一時的に避難所として使用できるようにしてほしい。	安全防災担当室	避難所等については大井町、山北町、また町外民間施設など、町域を越えた協定を締結していきたいと考えています。 平成31年度に洪水ハザードマップを作成するため、それに併せ説明会を開催する予定です。
3		フリーダイヤルの回線はいくつあるか。以前かけた時にずっと話中であった。	安全防災担当室	フリーダイヤルは現在4回線ございますが、電話が集中しつながりにくい状況となってしまう場合がございますので、フリーダイヤルと併せ、あんしんメールにも登録していただけるよう、お願いいたします。
4		自治会で備蓄する備品、食料等の内容、量は決まっているか。一人当たりの目安など。	安全防災担当室	「自主防災会防災倉庫備蓄用一覧」を参考に各自主防災会において、備蓄品を揃えていただくければと思います。なお、食料等の内容、量については、1日あたり食料3食+水3ℓを3日分、各家庭で揃えていただくよう周知して参ります。
5		最近の河川の事故・災害は、流木によるものが多い。小田急やJRと合同で、県に対応を依頼してはいかがか。	安全防災担当室	小田急、JRと調整し、引き続き県へ要望します。
6		防災についての講演会を実施して、その場で出た意見を町でくみ取ってほしい。	安全防災担当室	平成31年度に洪水ハザードマップを作成するため、それに併せ説明会を開催する予定です。
7	自治会のあり方について	役員の担い手不足や会員の高齢化により、自治会の存続が危ぶまれる。まつりやソフトボールへの参加者は、役員とその知り合いのみである。自治会が組織として成立しなくなった場合、町も防災面やごみ回収場所の管理など、今まで通りに出来なくなることが多くなるが、この状況をどのように考えているか。	総務課	加入率は徐々にではありますが、減少傾向にあります。近隣市町村に比べ高い水準にはありますが、今後、加入促進を進めていく必要性は非常に感じております。特に若い世帯の未加入世帯が目立ってきているように見え、加入にすることにより役員や事業に参加することをデメリットと考え、加入に消極的になる傾向にあります。昨年度から転入者に対して加入促進のチラシを配るようしており、今後は広報やホームページ等により災害時の初動時は自治会が中心となることなど、メリットを情報提供を推進し、加入促進を第一に考えてまいります。
8		役場職員の町内在住の割合はいかほどか、また、自治会の加入率はいかがか。	総務課	上記同様